

看護スタッフの働き方

みなと舎は、スタッフ約200名のうち44名が看護スタッフ。福祉施設と病院の機能を持ち合わせた医療があり、みなと舎ならではの看護スタッフの働き方があります。

みなと舎物語

（重症心身障害児者（メンバーさん）と愉快的仲間たち）

第47回

福祉
×
医療

×
みなと舎

みなと舎

☎046(855)3911



海外文化がすきなもので、「おしやれしてアフタヌーンティー」「夏にソングクラン（水かけ祭）」などをやってみたいです。

みなと舎へ入職のきっかけは？

前職の急性期病院では、時間管理が重要で、効率の良い看護が求められていました。今でも悔いが残っていますが、患者さんの心の部分が置き去りにされがちでした。働き方を模索していた中、内面にフォーカスしたみなと舎の働き方に出会ったのがきっかけです。



看護師歴〇年
片山智香子さん

入職半年の印象は？

思っていたよりもメンバーさんの状態が変化したり、通院や手術、医療処置が必要な方も多い印象です。小さな変化に気付く観察力が大切だと改めて実感しています。また前職よりも他の職種の方との距離感が近く、優しく教えてくださるので、多くの学びを得られています。残業がほとんど無いことにも驚きました。

みなと舎看護スタッフインタビュー

メンバーさんとの印象的なエピソードは？

呼吸器を装着していたメンバーさんと、夏祭りや花火大会、盆踊りなどに外出できたときの思い出がとても印象に残っています。病状が進行する前から外出が好きなメンバーさんで、安静が必要とされる状態でもご家族は「楽しい時間を過ごしてもらいたい」と外出を希望されました。医師・看護師や支援スタッフと外出の計画書を作成しました。外出時は、医師・看護師も付き添い、いろんなところにお出かけしました。外出することに不安や葛藤がありましたが、外出されたときの、うれしそうなお表情や、ご家族との時間を過ごすのを見た時、外出して良かったと心から強く感じました。



看護師歴〇年
新井玲子さん

家族の想いと病状のすり合わせ、メンバーさんとご家族に、多くを学ばせて頂いた、とても印象に残るかわりでした。



看護師長
田中有さん

メンバーさんの「いつでも外出OKな体調を整える」日常のケアを通して、そのサポートをするのが看護スタッフのテーマです。メンバーさんは外出を通して、楽しいことをしてみたり、親孝行を考えたり、社会参加を図ったり、色々なことに挑戦しています。どんなに障害が重くても、人工呼吸器を使っている、「当たり前」にみんなと同じことがしたい。そんな時に「私がついているから一緒にいきましょう」とメンバーさんに寄り添う看護を目標にしています。

看護スタッフに興味のある方はこちら

おしごと見学会 就職説明会

11/4(月・祝)・15(金)・27(水)
12/6(金)・14(土)・20(金)



見学会の申込は二次元コードまたはお電話で